

ヤマダ電機杯

第10回高崎市小学生駅伝競走大会兼小学生長距離リレー大会
「東北震災支援交流駅伝競走大会」を開催いたしました。



平成23年11月13日(日)高崎浜川競技場及び周辺コースにて、高崎市内の小学1年～6年生とともに、福島県南相馬市の子どもたち3チームを含めた95チーム約560名が参加し、見事に晴れ渡った秋空のもと、ヤマダ電機主催による駅伝大会が盛大に開催されました。

本大会は第10回を迎え、今大会から「ヤマダ電機杯」としてヤマダ電機が主催となり、女子陸上競技部の選手も参加し、本社がある地元、高崎地域の小学生の健全な育成、教育支援とともに、スポーツを通しての地域活性化のため、高崎陸上協会、群馬ダイヤモンドペガサスと協力し開催しました。高崎市内から参加した子どもたちも心を一つに汗を輝かせながらタスキをつないでいました。南相馬市の子どもたちは、福島第1原発事故の影響で野外での活動時間が制限され、運動会もクラブ活動もできない状況の中、「離れ離れになっていた友だちと震災後初めてこの大会で再会でき、一緒に走れた事が嬉しかった。いい思い出ができた」と語っていました。結果は、駅伝(6区11キロ)は高崎北小チームが男女とも優勝し、長距離リレー(4区3.8キロ)は男子が高崎南陽台小、女子は高崎北小Aチームが優勝しました。

そして競技終了後には、女子陸上部選手によるランニング教室を行いました。ヤマダ電機はこれからも、女子陸上競技部の活動を通じ、子供たちの教育支援、スポーツ振興、地元地域の活性化のため、積極的に取り組んでまいります。



